

## 「地図づくりって楽しいね」

### わくわく地図教室

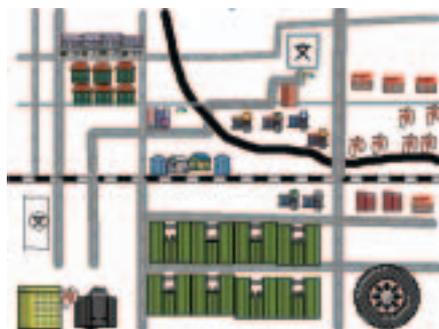
7月24日と25日の両日「わくわく地図」教室を開催しました。講師には、地図研究家の渡辺一夫先生をお招きし、「みんなの楽しい地図が書ける」「きみがいちばん、地図作品づくり」というテーマでご指導いただきました。

方角や地図記号など地図づくりのための基本や、地図を使っての地名しりとり、日本の島の名前あてゲームなど、地図の楽しみ方を教えていただきました。また、一人一人がかいてきた「家から学校までの地図」のよさを紹介し、もっとよくするためのポイントを丁寧に説明してくださいました。



わくわく地図教室の様子

昨年度の児童生徒地図作品展優秀作品を鑑賞した後、地図ソフトを使って、地図づくりの実習を行いました。渡辺先生からいただいたアドバイスを思い出しながら、もう一度、自分の家から学校までの地図をかいてみました。「パソコンでつくる地図も楽しいね。」子どもたちは目を輝かせて取り組みました。



地図ソフトを使った児童作品

皆さんからは、「地図で遊んだり記号をおぼえたりパソコンで地図をつくったりして、とても楽しかった。」「地図はおもしろい。横から見たり上下逆さにしてみると、違う国のように見えた。」「地図をかいて探検するのがおもしろそう。やってみたい。」「地図を自分でつくる力がつきました。地図作品づくりをがんばります。」などの感想をいただきました。

## 「地球環境に興味をもてました」

### リモートセンシング教室

中学生と高校生を対象に、リモートセンシングについての理解を深める「中高生のためのリモートセンシング教室」を、1月25日(日)に開催いたしました。

はじめに、千葉大学環境リモートセンシング研究センターの建石隆太郎助教授から、リモートセンシングの基礎について講義をしていただきました。その中で、リモートセンシングは、人工衛星などから地球の電磁波を観測し、地球の気候や植生などのいろいろな状態を判読・解析する技術であることや、近年環境破壊が問題となっている熱帯雨林地域のデータや画像により、その実態をわかりやすくお話いただきました。

続いて、県民ふれあい会館の展望室から画像と実際の風景を見比べた後、参加者が実際にパソコンを使って、ランドサットデータを用いた土地利用分類図の作成などの体験実習を行いました。

リモートセンシングという言葉をはじめて聞いた参加者も多かったようでしたが、この学習教室を通してリモートセンシングについて学ぶことができ、新たに地球環境に興味・関心を持った生徒もいました。



リモートセンシング教室の様子



ふれあい会館14階展望室での様子